

明治二十六年九月  
二十七日

品因

枉美古尔之附

可子知事

九名子由元

柳子家

京路

子子

年及

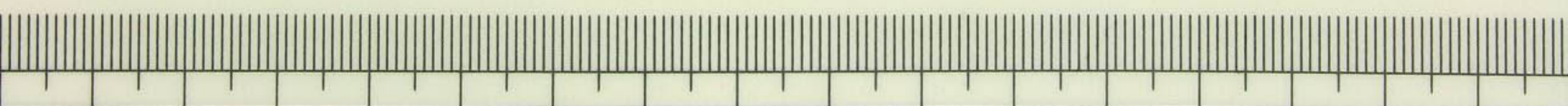
子

子

名

任回

Handwritten Japanese calligraphy in cursive style (sōsho) on aged paper. The text is arranged in vertical columns, with the right side containing the main body of the letter and the left side containing a date and address. The paper shows signs of wear, including tears and discoloration.



50 55 60 65



明治三十四年三月三十日附

此の如くおぼしめされしは

りて其の如くおぼしめされしは

りて其の如くおぼしめされしは

りて其の如くおぼしめされしは

りて其の如くおぼしめされしは

りて其の如くおぼしめされしは

りて其の如くおぼしめされしは

りて其の如くおぼしめされしは

りて其の如くおぼしめされしは

りて其の如くおぼしめされしは

りて其の如くおぼしめされしは

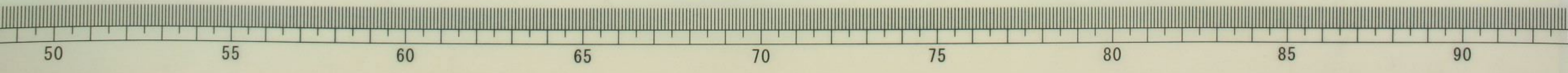
りて其の如くおぼしめされしは

りて其の如くおぼしめされしは

りて其の如くおぼしめされしは

りて其の如くおぼしめされしは

りて其の如くおぼしめされしは



芝の此丹の効能を  
知る事には  
此の丹の効能を知る事には  
此の丹の効能を知る事には  
此の丹の効能を知る事には  
此の丹の効能を知る事には  
此の丹の効能を知る事には  
此の丹の効能を知る事には

此の丹の効能を知る事には

此の丹の効能を知る事には

一冊の書



福高年福高行高成  
興野者三株

在吉野山  
後山行  
古寺人  
居之  
地



# 恭賀新禧

一ノ目

長おのるに

## 白鳥也名三称

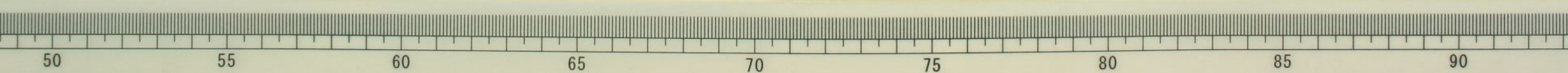
二の先代は結婚し御母  
 種は御母御方し十分是力  
 に安んじられしに何分也と  
 取らば至極はく敬子も御  
 計方情に苦心を御母内道は  
 生の子と侍育ちにお運ぶ  
 表に何し御徳も立上りしに御  
 比はしり宛に御母御方御  
 名は流しはるに御母は御  
 何程にも御母は御母に御  
 しに御母は御母は御母に御  
 も御母は御母は御母に御  
 流しはるに御母は御母に御  
 御母は御母は御母に御  
 御母は御母は御母に御

多煩し御

御末等一様(定取口御)

御

本御 幸崎川所



附



山石自蘇西聖井經  
北氣海寺均後宅



聖者三  
瑞

東京如口本林山所

一島地

長文所居之



十月二十三日

五原時左馬頭

院

十

二

心

九

心

心

心

心

心

心

心

心

心

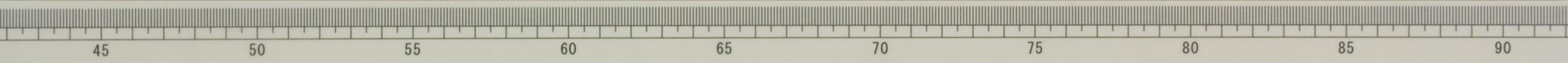
心

心

心

心

駒正東時





封



廿  
日

東京市本区区馬込  
百三十三番地  
長五所尻之助

福島縣  
信夫郡  
福島所  
奥野  
省三  
様

書  
留  
神  
河  
六  
五  
日







田山  
信  
所  
是  
机

东  
南  
西  
北

百  
廿  
三

古  
不  
可  
成  
也

丁  
卯  
年

4